

令和5年度 当初予算要求事業内容説明書

2款 2項 2目

第5章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち
(市民参加・自治体運営)

基本施策5 行財政運営

施策3 税の公平、公正、効率的賦課と収入率向上を目指します

【会計】一般会計

2款:総務費 2項:徴税費 2目:賦課徴収費

事業	57	収納方法拡大事業
担当所属	債権管理課	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
20,249千円	20,249千円				

【事業の概要】

事業の概要	金融機関等の窓口納付・口座振替納付・コンビニエンスストア納付・スマートフォン決済等の様々な収納データについて、的確にデータ処理を行います。
事業の目的	・納税手段の拡大により納税者の利便性を向上させます。 ・市税収納データの適正な管理を行います。
事業の効果	・納税し易い環境を整えることで市税の納期ごとの安定した収入を確保し安定した財政運営を確保することができます。 ・金融機関等の窓口収納データの正確かつ迅速な処理が実現され、過誤納金処理など収納後の処理を合理的に進めることができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
12 委託料		
収納データOCR読取委託料	4,387千円	出張所や金融機関等でOCR納付書により納められた市税等をデータ化して取りまとめます。
コンビニ収納委託料	10,613千円	コンビニ、スマートフォン決済にて納付された市税等をデータ化して取りまとめます。
収納データ取りまとめ委託料	3,400千円	OCR納付分とコンビニ等納付分のデータを取りまとめて統合します。
口座振替委託料	1,849千円	各銀行に口座振替を依頼した市税等のデータを取りまとめます。
計	20,249千円	